

JICA 基金活用事業 案件概要

I. 事業の概要	
1. 事業名称	マラウイにおける高血圧ゼロのモデル地区作りプロジェクト
2. 活動国・地域	マラウイ
3. 事業分野	<p>■開発途上国・地域の人びとの貧困削減や生活改善・向上に貢献する事業</p> <p>□日本国内の多文化共生社会の構築推進、外国人材受入れ支援に関する事業</p>
4. 事業の目標	高血圧対策モデル対象地区を設定し、マラウイにおける非薬物的な高血圧対策をモデル地区に一年間集中的に行うことで、ヘルスリテラシーの向上を目指す。その中でも、減塩を中心とした食事内容の啓蒙活動は、クッキングデモンストレーションなどを含め持続的な普及を目指す。その指標として、高血圧に関するヘルスリテラシーの質問票を介入前後で行う。
5. 事業の背景・経緯・対象地域の課題・人びとのニーズ	マラウイは、労働人口の約80%が環境変化に脆弱な農業関連事業に従事していることもあり、未だ世界最貧国の一つである。死因に起因する疾病構造としては、WHOの報告から、HIV/AIDSを除けば死因の一位は脳卒中となっており、その原因として最も考えられるのが高血圧症である。今回一緒に事業を行う Moyowathu HealthCare Services は国際高血圧学会と協力し、過去7年間毎年約7000人血圧測定データベースを作成しているが、マラウイの高血圧症の罹患率は約%と高く、かつ自身の血圧を把握できていない人も多い。そのため、国全体の食を含む日常生活習慣やそもそもの医療知識の向上が必要である。そこで、今後経済発展していく上で国民の健康寿命を延長させるためには、ヘルスリテラシーに伴う高血圧症の対策が重要であると考えた。
6. 事業の意義・目的	マラウイにおける非薬物的な高血圧対策をモデル地区に一年間集中的に行うことヘルスリテラシーの向上を目指す。また、現地の医療従事者とともに事業を行うことでマラウイ全土にこの試みを広げていく足掛かりとしてもらう。
7. 主な対象者（受益者）	高血圧対策モデル地区の Kabudula community の住民約5500人のうち、特に、1以上の住人を対象とする。同地区は農業が盛んな地域であり、また、過去に疫学研究が行われた地区の一つであるため、コミュニティリーダー含め住民がカウンターパートの研究者と面識があり、研究参加へのモチベーションが高い地区であるため、選定した。
8. 実施期間	(西暦) 2026年4月～2027年4月
9. 活動内容	<p>1. 血圧測定の習慣化のため、高血圧の住人には月に1回の定期測定を現地医療ボランティアとともに行う。(正常血圧値の住人は3か月に1回の頻度)</p> <p>2. 減塩メニューの考案とクッキングデモンストレーションを行う。特に薄味にするだけでなく、現地で育つ可能性のあるスパイスを使用した料理の提案を行う。</p> <p>3. 高血圧症に関する医療知識の啓蒙活動を月に1回血圧測定のために訪問した際に一緒に行うこととする。</p> <p>4. 栄養価の高い食品やスパイス(しょうがまたはにんにく、Chinese bunch、ピーツ)の村内での栽培実績を作る。</p>
9. 事業費	999,620円
II. 団体の概要	
1. 実施団体	特定非営利活動法人 健康長寿研究教育センター
2. 主な活動内容	健康増進や健康寿命に関する研修会やセミナー等の開催、臨床研究及び情報提供などの、人々の健康増進に寄与する様々な活動を行っている。